

スタンバイ・クレジット・ファシリティ (SCF)

スタンバイ・クレジット・ファシリティ (SCF) は、短期的な国際収支上のニーズを抱える [低所得国 \(LICs\)](#) に対する [金融支援](#) を提供します。SCF は 貧困削減・成長トラスト (PRGT) の下に設けた制度のひとつです。

[PDF をダウンロード](#)

目的

総じて持続可能なマクロ経済的ポジションに到達したものの、経済ショックなどによる短期的かつ一過性の金融・調整ニーズを抱えている [低所得国 \(LICs\)](#) に対する [支援](#) を行います。

強力で耐久性のある貧困削減・成長と一致する各国の経済政策プログラムを支援します。

国外からの援助を促します。

適格性

PRGT 適格国で、2 年以内（長くとも 3 年以内）に解消できると見込まれる国際収支上のニーズを抱えているすべての国が対象です。

国際収支上のニーズが発生する恐れのある加盟国は、予防的に利用することができます。

コンディショナリティ

経済政策プログラムは、安定した持続可能なマクロ経済的ポジションに短期間で到達するための政策を含み、貧困削減・成長目標と一致しなければなりません。

IMF プログラムの [コンディショナリティ](#) は、プログラムの目標を達成するうえで重要な政策措置に重点を置いていて、通常は事前措置（定量的条件（パフォーマンス基準と指標ターゲット）） 構造的

ベンチマークで構成されます。詳しくは[コンディショナリティ](#)をご覧ください。

当初の期間が 2 年間を超える取極については、2 回目以降の審査完了時に [IMF 理事会](#) に対し [貧困削減・成長戦略 \(PRGS\)](#) を提出することになります。PRGS は、成長と貧困削減を支援するマクロ経済政策・構造政策・社会政策、関連する対外資金ニーズと主要な財源を明確にします。

審査手順

[IMF 理事会](#) は、プログラムの進捗について、通常 6 か月ごとに審査します。

条件

期間	12～36 か月
返済期間	猶予期間 4 年、満期 8 年。
金利	現在ゼロ金利。 半年間で利用可能な資金のうち活用されていない資金には、年間 0.15% のアベイラビリティ費が適用されます。
利用枠	PRGT の利用限度は年間でクォータの 145%、譲許的融資の累計限度（予定返済総額）は クォータ の 435% です。例外的状況においては、厳格な年間・累計利用限度を設けることなく、これらの利用限度を引き上げることができます。ただし、PRGT の例外的利用基準を満たしていることが条件となります。取極期間中は必要に応じて、適用限度より利用限度を引き上げることがあります。 SCF の利用は 6 年の期間内で 3 年を限度とし、予防的 SCF 取極の場合を除いてローリング方式で評価します。

その他の融資制度

IMF の融資について、SCF 以外の融資制度については、ファクトシートをご覧ください。

[拡大クレジットファシリティ \(ECF\)](#)

[拡大信用供与措置 \(EFF\)](#)

[フレキシブル・クレジットライン \(FCL\)](#)

[予防的流動性枠 \(PLL\)](#)

[ラピッド・クレジット・ファシリティ \(RCF\)](#)

[ラピッド・ファイナンス・インストルメント \(RFI\)](#)

[強靱性・持続可能性ファシリティ \(RSF\)](#)

[短期流動性枠 \(SLL\)](#)

[スタンバイ取極 \(SBA\)](#)